

事業所における自己評価結果表（公表）

令和4年度 公表 わんぱくキッズ

わんぱくキッズ児童発達

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制設備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100	0	お子さんが入りやすいように一軒家となっている	
	② 職員の配置数は適切であるか	100	0	経験豊富な保育士、児童指導員を配置している	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100	0	構造化を取り入れていて、記号や、標識などお子さんにもわかりやすくなっている	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100	0	開始前に再度フローリングシートで掃除をしている	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100	0	活動前の打ち合わせ、活動後の個人記録の記載等行っている	
	⑥ 保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100	0	保護者からのご意見は検討し、取り入れている	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を事業所会報やホームページ等で公開しているか	83	17	毎年3月にはホームページ等で公表している。保護者からのご意見を踏まえ、改善している	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	20	80	第三者外部評価が高額の為検討中	
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	機会を設け内部研修、外部研修ともに行い、職員には研修報告の提出をしてもらっている	
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	100	0	アセスメント後に担当者会議を行い、意見を吸い上げて支援計画作成を行っている	
	⑪ 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100	0	遠城寺式発達検査、ポータープログラム等のバッテリーを組んでいる	
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子供の支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100	0	お子さんの状況に合わせて支援内容を設定している	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100	0	活動前後の会議やケース会議で計画に沿った支援ができるよう助言している	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	ミーティングでその日のお子さんに合わせてプログラムを考える	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	季節や行事、発達年齢などを考慮している	

供	⑯	子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	100	0	個別と集団とを適宜混ぜながら、行っている。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100	0	毎日必ず行う。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	100	0	振り返りは毎日行い、次回に生かせるようにしている	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100	0	個人の記録、活動の記録等、次回に生かせる記録をしている	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100	0	定期的なものと成長が見られた場合など書き換えを行う	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	80	20	参画している	
	㉒	母子保健や子供・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	100	0	保健師、相談支援事業所、保育園幼稚園と連携して行っている	
	㉓	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	—	—	現在は該当者はいないが、以前に受け入れて関連機関と連携していた。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子供や重症心身障害のある子供等を支援している場合) 子供の主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	—	—	現在は該当者はいないが、以前に受け入れて関連機関と連携していた。	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を計っているか	100	0	関係機関連携で実際に保育園や幼稚園に見学させてお話を伺っている	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を行っているか	80	20	今年度は該当者がいる予定	
	㉗	ほかの児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100	0	連携している	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子供と活動する機会があるか	80	20	コロナ禍においてできない状態である	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域子供・子育て会議等へ積極的に参加しているか	80	20	参加できる状況の時は参加している	
	㉚	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子供の発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100	0	日ごろからよくお声掛けして話しやすい雰囲気を作るよう心掛けている	

	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	100	0	ペアレントトレーニングを行った	
保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担金について丁寧な説明を行っているか	100	0	契約時に行っている	
	③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」をい示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	100	0	計画作成後に行っている	
	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	心がけている	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	100	0	保護者会はコロナ禍において開いていない	
	③6	子供や保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	対応している	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者にたいして発信しているか	100	0	キッズのお便り(毎月)わんぱく通信(年2回)発行している	
	③8	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100	0	十分注意している	
	③9	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100	0	配慮している	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	80	20	コロナ禍において現在は控えている	
	非常時の対応	④1	緊急対応マニュアル。防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100	0	冊子を配布している。3ヶ月に1度行っている
④2		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100	0	行っている	
④3		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子供の状況を確認しているか	100	0	聞き取りや記入により行っている	
④4		食物アレルギーのある子供について、医師の指示所に基づく対応がなされているか	100	0	現在は芸当者はいないが、以前はドクターの診断書をいただいで対応した	
④5		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	100	0	ヒヤリハットで共有している	
④6		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	虐待の研修は必ず行う	

47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	100	0	該当者はいないが、身体拘束については全ご利用者に説明している	
----	---	-----	---	--------------------------------	--